

作物名	適用病害虫名 使用目的	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ヒトキシロキザ ールを含む農薬 の総使用回数
稲 (箱育苗)	苗立枯病 (フザリウム菌) (ヒシウム菌) 根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 ムレ苗防止	500～ 1000倍	育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土 壤約5L) 1 箱当り 500mL	は種時及び 発芽後	2回 以内	土壌灌注	3回以内 (移植前の土 壤混和は1回 以内、移植前 の土壌灌注は 2回以内)
	ごま葉枯病	500倍		は種時	1回		
	苗立枯病 (フザリウム菌) (ヒシウム菌) 根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 ムレ苗防止	1000倍	育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土 壤約5L) 1 箱当り 1L	は種時及び 発芽後	2回 以内		
	ごま葉枯病			は種時	1回		
稲 (折衷 苗代)	苗立枯病 (フザリウム菌) (ヒシウム菌)	500倍	1L/m ²	は種直後 及び発芽後	2回 以内		
稲 (畑苗代)	根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進	1000倍	3L/m ²	は種直後	1回		

作物名	適用病害虫名 使用目的	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	トリプロキシカザ ールを含む農薬 の総使用回数		
キャベツ	ビシウム腐敗病	1000倍	セル成型育苗 トレイ1箱 または ペーパーポット 1冊 (30×60cm・ 使用土壌 約3.0~4.0L) 当り0.5L	出芽時~ 育苗期	3回 以内	土壌灌注	3回以内		
レタス	パーティリウム 萎凋病		250mL/株	定植時		株元灌注		1回	
すいか	苗立枯病	500~ 1000倍	3L/m ²	は種直後	1回	苗床灌注	2回以内 (育苗土壌へ の混和は1回 以内、苗床へ の灌注は1回 以内)		
きゅうり	苗立枯病 (フザリウム菌) (ビシウム菌)					3回 以内		土壌灌注	3回以内
メロン	苗立枯病 (ビシウム菌)	500倍	9L/m ²	は種時	1回	全面 土壌灌注	1回		
ほうれんそう	立枯病	500~ 1000倍				300mL/m ²		は種前	土壌灌注
		1500~ 3000倍							全面散布後 土壌混和
オクラ	苗立枯病 (ビシウム菌)	500~ 1000倍	50~200 mL/株	は種時~ 発芽初期	2回 以内	植穴又は 株元灌注	2回以内		
さやいんげん	白絹病	500倍	1L/m ²	収穫14日前 まで	3回 以内	土壌灌注	3回以内		
さやえんどう	根腐病	500~ 1000倍	3L/m ²	は種後及び 生育期		は種穴又は 株元に土壌 灌注			
実えんどう	立枯病	500倍	200mL/株	但し、は種後 1~2か月後 まで					
未成熟 そらまめ				は種後及び 生育期 但し、収穫 30日前まで					
てんさい	苗立枯病	500~ 1000倍	ペーパーポット 1冊当り 1L	は種時~ 生育初期 但し、収穫120 日前まで		灌注	5回以内 (種子粉衣は 1回以内、育 苗土壌への混 和は1回以内、灌注は3 回以内)		
			3L/m ²						

2019年10月23日現在

作物名	適用病害虫名 使用目的	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ヒトキシノキサゾールを含む農薬 の総使用回数
みずな	立枯病	500倍	3L/m ²	は種時	1回	土壌灌注	1回
みぶな		1000倍					
みつば	根腐病	2000倍	100~300 L/10a	収穫14日前 まで ただし、伏せ込 み栽培は伏せ 込み前まで	1回	散布	1回
いちご	苗の発根促進 活着促進	1000倍	—	挿し芽 採取時	1回	30分間 挿し芽浸漬	2回以内 (挿し芽採取 時の浸漬処理 は1回以内、 挿し芽時の 土壌灌注は 1回以内)
			1.5L/育苗 培養土5L	挿し芽時		土壌灌注	
たばこ	舞病	1000倍	100mL/株	移植時及び 大土寄時	2回 以内	株元灌注	2回以内
カーネーション	立枯病		500倍	3L/m ²	定植時及び 活着後	3回 以内	土壌灌注
アイリス	白絹病	1000~ 2000倍	定植時及び 生育期		6回 以内	6回以内	
きく	発根促進	1000倍	5~10L/m ²	挿し芽直後	1回	苗床 全面灌注	1回
林木 (苗木)	立枯病	500~ 1000倍	3L/m ²	は種覆土 直後			
西洋芝 (ベント グラス)	赤焼病	250~500 倍	2L/m ²	発病初期	4回 以内	散布	6回以内
	ピシウム病		0.5L/m ²				